

11月9日配信の逆ラジオ通信で、“【伊勢B262】【伊勢E481】のデータから、紀伊半島周辺は要注意と考えます、”として「11/14 三重県南東沖 M6.1、深度 350 k m、最大震度 4」が発生しました。いままで長期に渡り、伊勢の異常データをメインにして、紀伊半島周辺を警戒していましたがこの地震が1つの対応地震であったと考えます。

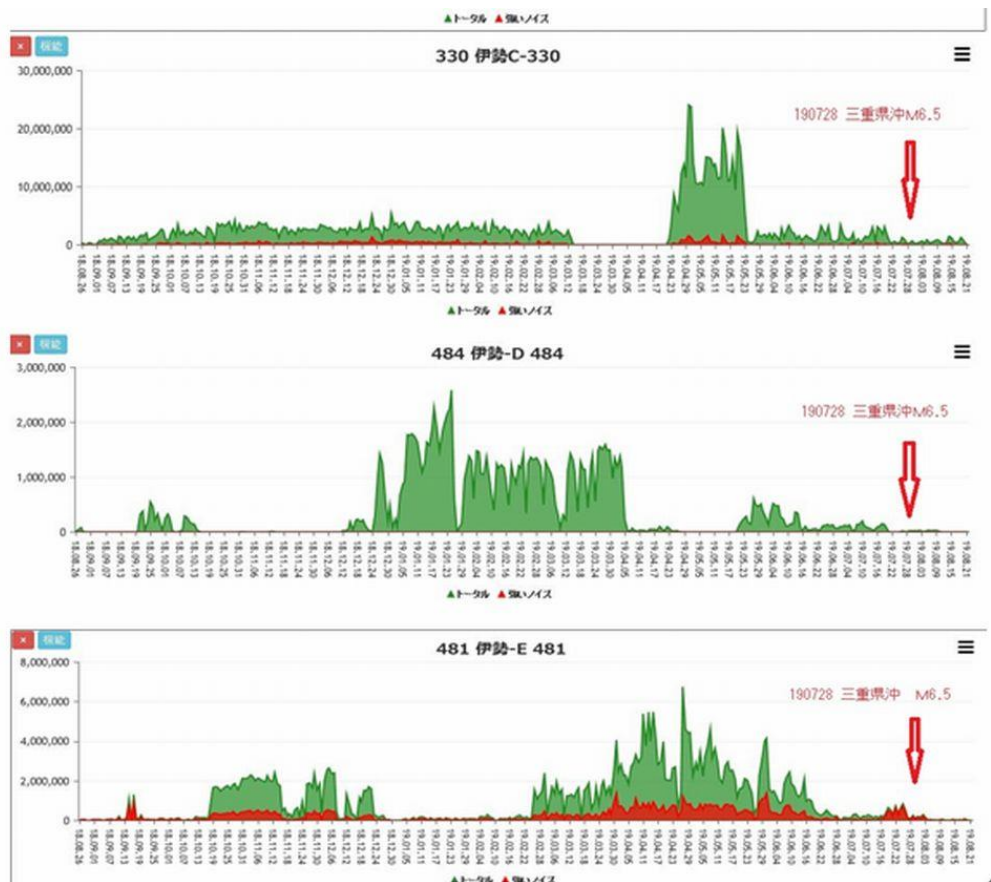
なお この震源で過去に起きた地震と同じく 今回も深度 350 k mという大深度であったことから異常震源域の地震と言われていて、震源の近くの三重県はほとんどゆれず、遠く離れた関東や東北が揺れています。この原因は 今回の地震の震源が ユーラシアプレートとフィリピンプレートの境目の地震ではなく 三重県沖に、さらに深くもぐりこんだ太平洋プレートの中での地震であったため、揺れが太平洋プレートを伝わって行き、浅い関東や東北が揺れた、という解説がされています。

とにかく長く懸案だった伊勢などのデータから、心配していた、紀伊半島周辺の地震の1つがこれであったと思われませんが、M6.1では少し規模が小さいことや、【浜松市浜北017】【伊勢B261】【長野安曇野】【伊勢D484】、【和歌山A】などの長期データがまだ減衰してきていないことから考えてこの先も、紀伊半島周辺は しばらく注意が必要です。

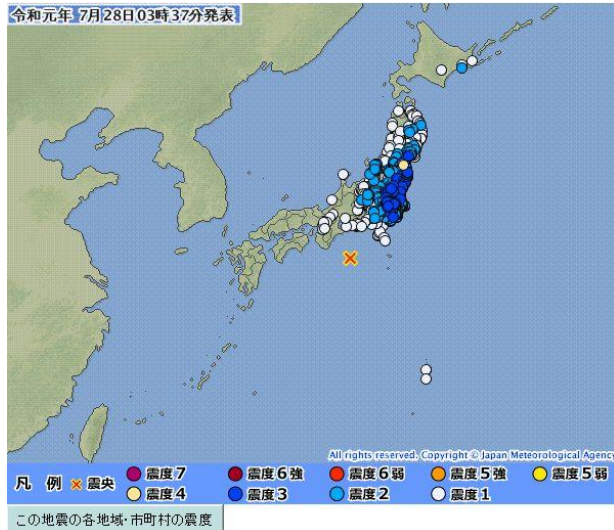
以下に過去の事例と今回の関連データを載せますので参考にしてください。

過去の事例：2019年7月28日 三重県南東沖M6.5 D450 k mについて

伊勢D330, 伊勢D484, 伊勢E481 の3か所に長期データが出ている。



地震発生 2019年7月28日三重県南東沖M6.5 D450km



この地震の各地域・市町村の震度

各地の震度に関する情報
 令和 元年 7月28日03時37分 気象庁発表

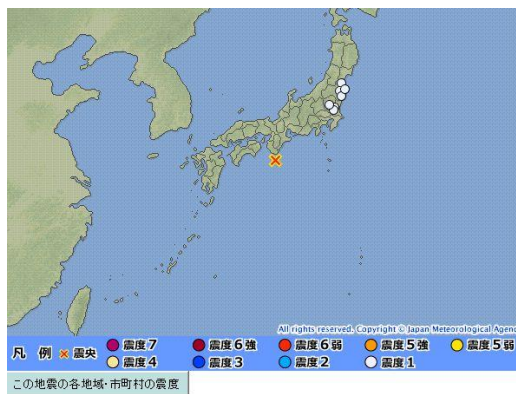
28日03時31分ころ、地震がありました。震源地は、三重県南東沖（北緯33.0度、東経137.4度）で、震源の深さは約420km、地震の規模（マグニチュード）は6.5と推定されます。

その他、同じ震源の大深度地震の例：

2020年12月29日 和歌山県沖M4.4 D440km

2021年1月15日 三重県南東沖M5.3 D390km

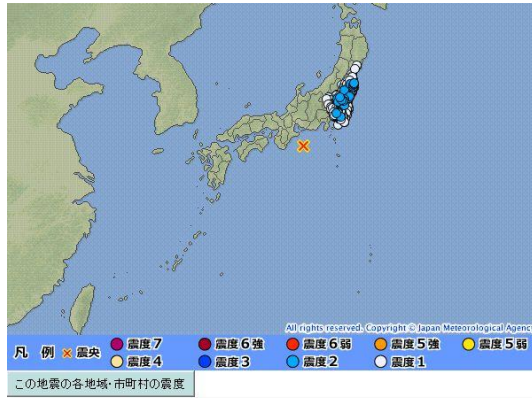
いずれも震源が大深度のため、遠い関東や東北が揺れている。



この地震の各地域・市町村の震度

各地の震度に関する情報
 令和 2年12月29日04時28分 気象庁発表

29日04時24分ころ、地震がありました。震源地は、和歌山県南方沖（北緯33.1度、東経135.8度）で、震源の深さは約440km、地震の規模（マグニチュード）は4.4と推定されます。



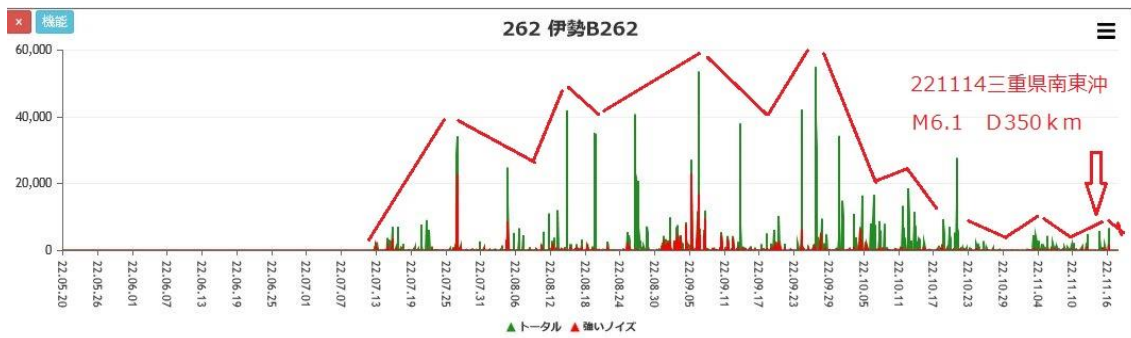
この地震の各地域・市町村の震度

各地の震度に関する情報
 令和 3年 1月15日22時43分 気象庁発表

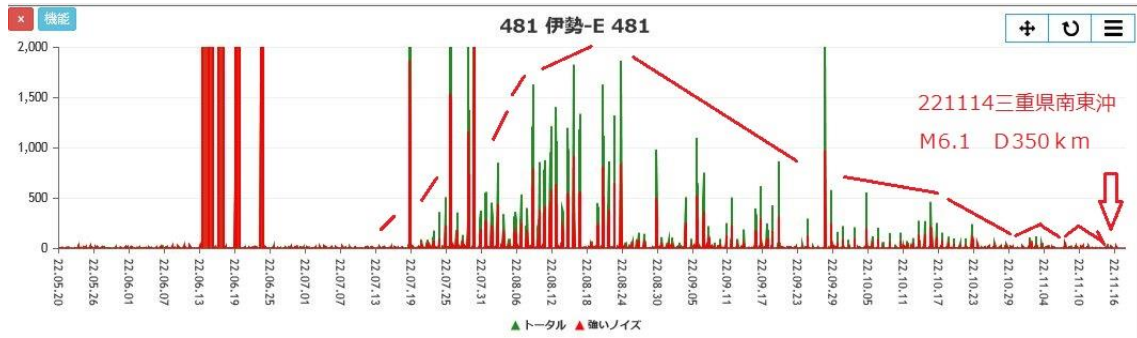
15日22時39分ころ、地震がありました。震源地は、三重県南東沖（北緯33.7度、東経137.3度）で、震源の深さは約390km、地震の規模（マグニチュード）は5.3と推定されます。

今回の11月14日三重県南東沖 M6.1 (D350km) の前兆データ

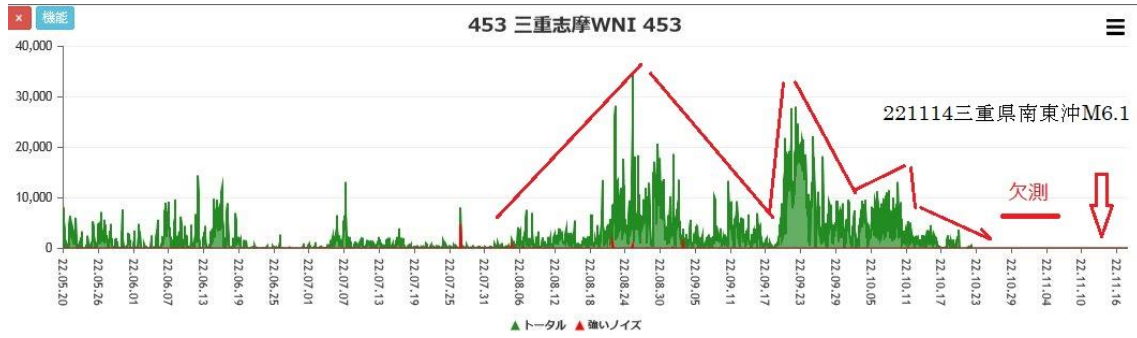
伊勢B262 180日間データ



伊勢B 481 180日間データ



三重志摩 180日間データ



地震発生：11月14日 三重県南東沖 M6.1 (D350 km)



発生時刻	2022年11月14日 17時09分ごろ
震源地	三重県南東沖
最大震度	4
マグニチュード	6.1
深さ	350km